

RV160およびRV260ルータでのIGMPプロキシの設定

目的

Internet Group Management Protocol(IGMP)は、マルチキャストに使用されるプロトコルです。マルチキャストを使用すると、データをソースから複数の受信者に同時に送信できます。このプロトコルは、マルチキャストグループに属するルータとホストの間で動作します。マルチキャストIPアドレスは、ネットワーク上のトラフィックを削減するために専用の特別な範囲のIPアドレスです。マルチキャストIPv4アドレスの範囲は224.0.0.0 ~ 239.255.255.255です。IPv6マルチキャストアドレスはプレフィックスff00::/8を使用します。マルチキャストグループにマルチキャストアドレスが割り当てられると、グループのすべてのマルチキャストトラフィックがこのIPアドレスに送信されます。インターネットから大量のマルチキャストトラフィックが着信する場合は、おそらくIGMPプロキシを有効にします。IGMPは、Webのリソースや、ビデオやゲームのオンラインストリーミングなどのサポートアプリケーションに使用できます。IGMPプロキシを使用すると、ルータは背後のクライアントに代わってIGMPメッセージを発行できます。

このドキュメントの目的は、RV160およびRV260ルータでIGMPプロキシを設定する方法を示すことです。

該当するデバイス

- RV160
- RV260

[Software Version]

- 1.0.00.13

IGMPプロキシの設定

IGMPプロキシを有効にするには、次の手順を実行します。

ステップ1: Web設定ユーティリティにログインします。

注：この記事では、RV160を使用してIGMPプロキシを設定します。設定は、使用しているモデルによって異なります。



Router

cisco 1

●●●●●●●● 2

English ▼

Login 3

©2018 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.

Cisco, the Cisco Logo, and the Cisco Systems are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

ステップ2:[Routing] > [IGMP Proxy]を選択します。



ステップ3:[Enable IGMP Proxy]をオンにして、ルータとノードが相互に通信できるようにします。



ステップ4：リストからアップストリームインターフェースを選択します。



注：RV260Wは、セルラー接続用にWANインターフェイスとUSBバックアップをサポートします。

IGMP Proxy

Enable IGMP Proxy

Upstream Interface: WAN - Auto Fixed Interface

WAN VLAN1 USB

Downstream Interface: WAN VLAN1 USB

ステップ5：リストからダウンストリームインターフェースを選択し、IGMPプロキシがIGMPメンバーシップ要求を受信できるようにします。

IGMP Proxy

Enable IGMP Proxy

Upstream Interface: WAN VLAN1

Downstream Interface: WAN VLAN1

注：アップストリームインターフェイスは、IGMPプロキシのダウンストリーム側のすべてのデバイスに代わって、IGMPメンバーシップ要求を送信します。

ステップ6:[Apply]をクリックします。



The screenshot shows the IGMP Proxy configuration page. The 'Apply' button is highlighted with a green border. The configuration is as follows:

IGMP Proxy

Enable IGMP Proxy

Upstream Interface: WAN VLAN1

Downstream Interface: WAN VLAN1

Buttons: Apply, Cancel

これで、RV160およびRV260ルータのIGMPプロキシ設定が正常に有効になり、設定されているはずで